

言語文化サポーター研修<第1回>を開催しました

日時：平成28年9月25日（日）10:00-17:00

場所：東京外国語大学 アゴラ・グローバル3階 プロジェクトスペース

内容：

- ・言語文化サポーター概要説明 10:05-10:30
- ・研修①「多言語・多文化化する日本の現状」（長谷部先生・土田先生）10:30-12:00
- ・研修②「コミュニティ通訳の役割」（内藤先生）13:00-14:00
- ・研修③「基本的通訳技法（演習）」（内藤先生）14:00-15:30
- ・ワークショップ、振り返り（内藤先生、長谷部先生、土田先生）15:45-17:00

平成28年7月1日に開始した「言語文化サポーター」制度は、9月末時点で109名（延べ人数）の東外大OBOG等に登録していただきました。サポーターの皆さんには、すでに法律相談会、DVシェルター、国際スポーツ大会などで活動していただいています。

今回、登録者を対象に、「言語文化サポーター研修<第1回>」を開催し、日本の現状やコミュニティ通訳についての講義、通訳技法の演習などを学びました。研修には21名（学部生1名を含む）が参加し、意見交換や演習にも熱心に参加していました。



参加者の感想：

- 今回の研修会で、コミュニティ通訳を志す、または関心のある方々と交流することができ、大変良い機会となりました。
- 普段の基礎知識に関する幅広いトレーニングが必要だと感じた。
- 語学ができることと通訳ができることは違うということを再確認しました。通訳は語学力を確認・自慢する場ではない、という先生の言葉は常に頭に入れておきたいです。
- 軽い気持ちで参加しましたが、高い通訳技術を要求されていることが分かりました。
- 他のサポーターとの意見交換が楽しかったです。